

- 今月号の編集長レポは久しぶりの直球ど真ん中の廃物件レポだったので、始めから最後までワクワクドキドキっぱなしだった。日本の鉄道史に新たな1ページが加わるに違いない。

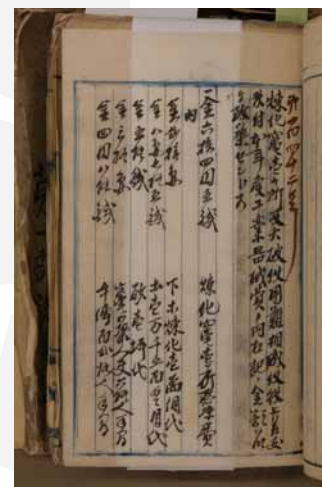
実は昨日、古本がひと箱届いていたのだが、このレポを読んでいたら存在を忘れてしまった。

Stay Homeの影響なのか、通販古本が値上がりしたり欠品になったり、常々安くなるのを狙ってる私に、こんな所でもコロナは地味な嫌がらせをしてくる。(つ)

- 明治初期の毛筆文を読む機会が立て続けにあって、いわゆる古文書解読の能力が欲しいと思う今日この頃です。近世以前の古文書ほど読めないものではないんですが、わからない個所がその文書の要をなしていたりすることが多くて、一文字たりともおろそかにできないのが怖い……。昔の人はこれをスラスラ読めていたわけで、すごいよなーと思います(小並感)。そうして活字の有り難さをひしひしと感じます。写真の公文書は、滋賀県膳所にあった監獄内の煉瓦製造竈の再建に関する申請書。明治21年のお話です。(な)



ママ「クシ振り」言ワレタ…  
実際ソーナンドカラ  
シャーナイケドサア



# BEAR TYRE